

いちめんのなのはな

令和元年 6月 5日 (水)
こうちよう すす ぎ まこと
校長 鈴 木 誠

「突然の地震警告音」-整然とした対応-6月4日(火)午後1時38分

それは突然でした。子供たちが昼の休み時間を思い思いに過ごしている学校中に、地震予知の警告音が響きました。「震度3、30秒後」のアナウンスも流れました。子供たちは、運動場では、一緒にいた先生方を中心に運動場の中央に集まり、頭を両手で覆^{おお}って身をかがめました。体育祭の表現運動のテスト未実施者がテストを受けていた体育館では、いったん中央に集まり防御態勢をとったあと、様子を見て運動場に避難しました。それぞれの教室では、大半の子供が机の下に入り身を守りました。そうでない子も、先生方の指示、または校内放送の指示で防御行動をとりました。その後、警告された時間前後に小笠原村で震度4の地震が発生したと、津波の心配がないことを確認し、通常の活動に戻りました。

混乱することなく、迅速かつ適切に防御行動をとれた子供たちに感心するとともに、子供たちの命と安全を預かる意識が高く、適切な指導ができた先生方に感謝です。

「六ツ美^{*}悠紀齋田お田植えまつり」6月2日(日)

大正天皇即位に際する大^{だいじょうさい}嘗^{じょうさい}祭^{さい}に用いる新米を収穫するために選定された齋田^{*}が、岡崎市中島町(旧碧海郡六ツ美村大字中島)でした。その^{ほまれ}誉^{ことほ}を^ほ寿^めぎ、先人の農業に対する御苦勞と業績を受け継ぎ未来へと伝える行事が、「六ツ美悠紀齋田お田植えまつり」です。本校からも、毎年2名の代表児童と校長が出席しています。六ツ美中部学区の総会長の久保さんが開式のことばを述べられるなど、学区の総代さんたちも運営に御尽力されました。感謝します。



また、今年は、平成27年の100周年記念事業にあたって、より緊密に連携した主基の地である香川県綾川町と岡崎市が、「齋田ゆかりの地交流提携」を締結するという、節目を迎えました。そこで、提携締結のために、そして一層の交流を深めるために、香川県綾川町から37名の方が来岡されました。来岡団には、綾川町立綾上小学校の代表児童3名もいて、当日は、代表児童同士が交流しました。上の写真は、本校(後列左から2名)に加えて、六ツ美南部小と六ツ美西部小(後列右から4名)、綾上小学校(前列3名)の代表児童がそろって撮影したものです。

※六ツ美…現在は「六ツ美」に表記が統一されていますが、「六ツ美悠紀齋田お田植えまつり」は、当時の表記を用いています。

※大嘗祭…天皇一代に一度だけ、即位後の新穀を供え、収穫を祝い、今後の豊作を祈る宮中の儀式

※齋田…京都より東を悠紀(ゆき)、西を主基(すき)として選定された田

「ジャガイモの収穫・1, 6年生」 6月3日（月）

6年生が、昨年度の理科の授業で植えたジャガイモを、1年生と一緒に収穫しました。「たくさんついてきた」「こんな小さなものもあったよ」「これはリンゴ（の形）だよ」など、地中から顔を出すジャガイモに、子供たちは一喜一憂しました。この収穫をどのように享受するかは、未定だそうです。恵みに感謝する心が、一回りも二回りも大きく育つことを願っています。



「『4年生の部活動見学』はじまる」 6月4日（火）



4年生が4日から7日（金）まで部活動の見学を行います。計画的にどの部も見学して、3年間取り組むことのできるものを選ぶように配慮されています。右の写真は、プールでの練習を始めた水泳部を4年生の女子が見学する様子です。

来週からは体験入部です。どの部も体験して、月末には仮入部から本入部となります。

先週お伝えきれなかった話題をお伝えします。

「タマネギ掘りと中保育園との交流・1年生」 5月30日（木）

1年生の児童が、六ツ美中保育園に招かれ、タマネギの収穫と交流をしました。普段は、6年生を中心に世話してもらうことの多い1年生ですが、昨年までは保育園や幼稚園で一番のお兄さんお姉さんだったことを思い出したのか、「ダンシング玉入れ」で交流する場面では、間隔を整えて円形に並ぶ際に保育園の子の手を引いてリードする姿などが見られました。



「PTA給食試食会」 5月30日（木）



PTA保健体育部は「心肺蘇生法・AED講習会」に引き続き「給食試食会」も実施しました。試食の前に、本校栄養教諭の池田が、食材の納入と点検から食器の洗浄までなどを中心に南部給食センターの取り組みを説明しました。参加者の皆さんからは「想像以上に多くの人の手がかかけられ、安全と清潔が確保されていることが分かりました」などの感想が聞かれました。その後は、それぞれが経験してきた給食の違いや思い出話に花が咲きました。